

## キックオフイベント報告

2015年7月20日(月・祝)に成城ホールにて、生物多様性地域戦略づくりのキックオフイベントを開催し、225名の方々にご参加いただきました!

### ◇生物多様性地域戦略、

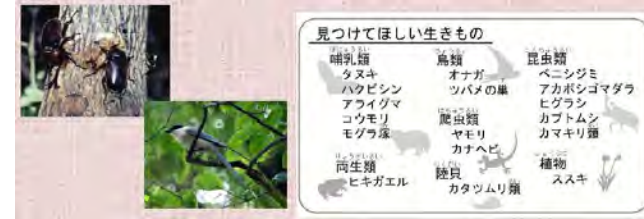
#### まちの生きものしらべのガイダンス

生物多様性とは何か、なぜ生物多様性地域戦略をつくるのか、「まちの生きものしらべ」について調査・報告方法について説明しました。

### ◇生きものおもしろ講演会

共催(一財)世田谷トラストまちづくり

プロ・ナチュラリストの佐々木洋さんから、生きものの生態や魅力についてお話をいただきました。また、場内の子ども達からの質問に対して、丁寧に回答していただきました。会場では、パネル展示や生きものの実物展示、生きもの相談コーナーを開設し、体験・理解を深めていただきました。



世田谷区の生物多様性地域戦略づくり

# まちの生きものしらべ 2015

これまで(一財)世田谷トラストまちづくりが行ってきた「まちの生きものしらべ」について、2015年は生物多様性地域戦略づくりの取り組みとして世田谷区が呼びかけを行いました。どんな生きものがどこにどれだけいるか、いろいろな生きものが住める世田谷にするためにはどうしたらいいかを考えるきっかけとして、多くの方々にご参加いただきました。

## 2015年報告数ランキング

調査対象:1~17位の17種

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| <b>1位</b> ススキ (100件)  | <b>2位</b> カマキリ類 (87件)    |
| <b>3位</b> コウモリ (72件)  | <b>4位</b> ヤモリ (52件)      |
| <b>5位</b> ヒキガエル (30件) | <b>6位</b> アカボシゴマダラ (27件) |
| <b>7位</b> ヒグラシ (22件)  | <b>8位</b> ツバメの巣 (20件)    |
| <b>9位</b> オナガ (16件)   | <b>10位</b> カナヘビ (14件)    |
| <b>11位</b> モグラ塚 (12件) | <b>12位</b> カタツムリ (8件)    |
| <b>12位</b> カブトムシ (8件) | <b>12位</b> ベニシジミ (8件)    |
| <b>15位</b> ハクビシン (2件) | <b>16位</b> タヌキ (1件)      |
| <b>17位</b> アライグマ (0件) | <b>その他の報告 (1939件)</b>    |

## その他の生きものについて

対象とした17種類以外にも、いろいろな生きものが確認されました。でも、いいことばかりではないようです。生きものをとりまく世田谷の「いま」は、どんな状況にあるのでしょうか。

### ◆すみかや数がへった生きもの(重要種<sup>\*1</sup>)



サワガニ(甲殻類)やハグロトンボ(昆虫類)は少ししか確認されませんでした。これは、すみかとする湧水や崖線、河川などの水辺環境が少なくなっているためです。

### ◆もともと世田谷にはいなかった生きもの(外来種<sup>\*2</sup>)



代表的な外来種のアカボシゴマダラは、区内全域で確認されました。その他、鳥類のワカケホンセイインコやカオグロガビチョウ、アメリカザリガニ(甲殻類)などが確認されました。

\*1 重要種:この資料では、東京都の絶滅危惧種について整理された「東京都レッドデータブック東京2013~東京の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版~」に記載された種を重要種としました。

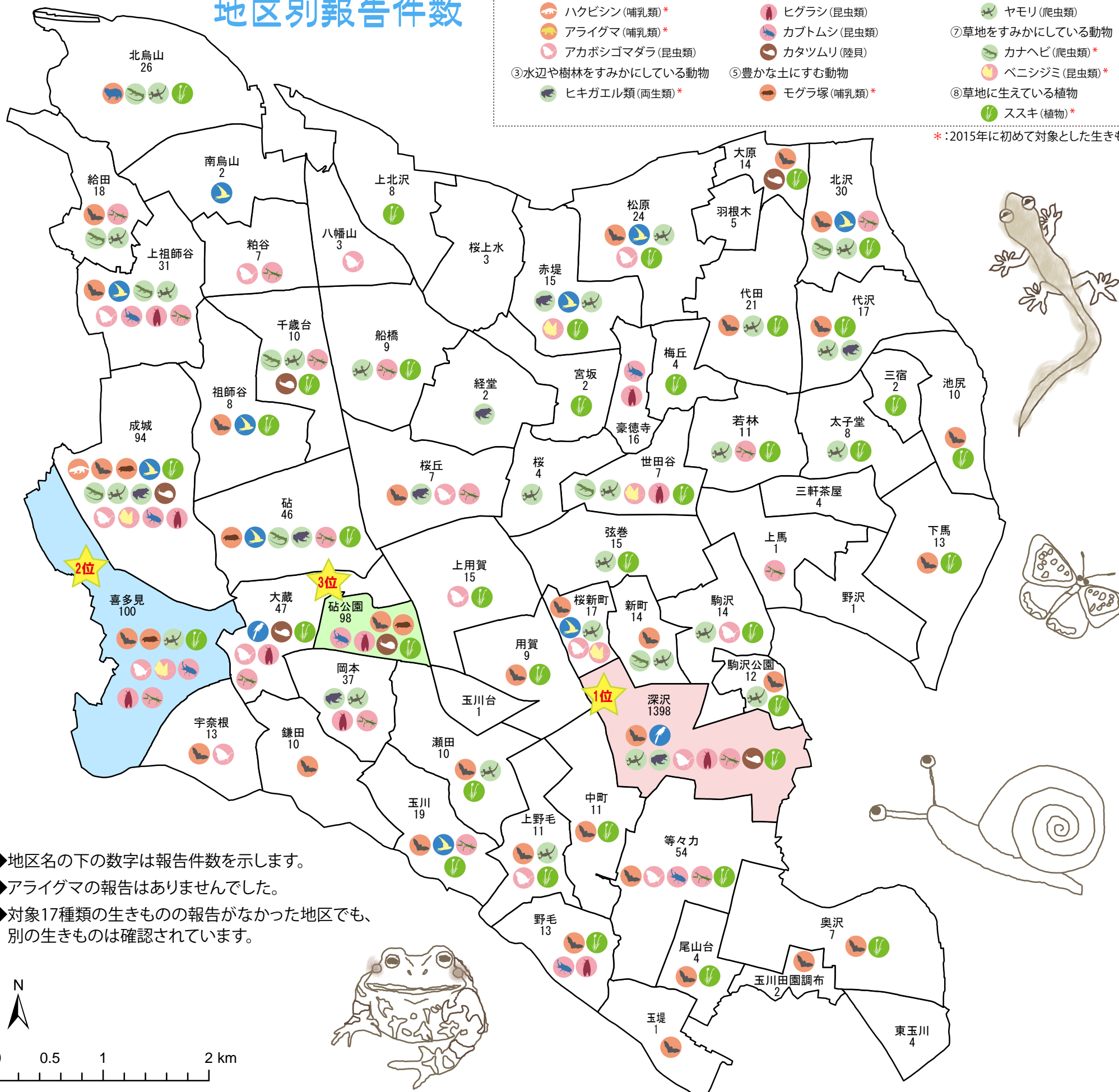
\*2 外来種:もともと世田谷区にはいなかったが人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことをいいます。生態系に大きな影響を与えることなどから、近年の環境問題の一つとなっています。

# まちの生きものしらべ2015

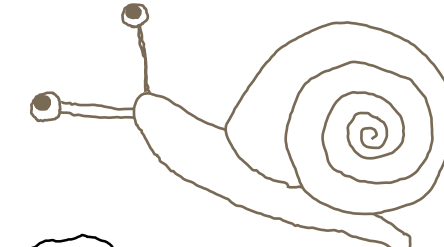
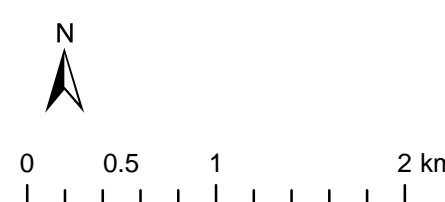
## 地区別報告件数

- ①世田谷区内で多く見かける動物
  - オナガ(鳥類)
- ②もともと世田谷にはいなかった動物
  - ハクビシン(哺乳類)\*
  - アライグマ(哺乳類)\*
  - アカボシゴマダラ(昆虫類)
- ③水辺や樹林をすみかにしている動物
  - ヒキガエル類(両生類)\*
- ④樹林や草をすみかにしている動物
  - タヌキ(哺乳類)
  - カマキリ類(昆虫類)
  - ヒグラシ(昆虫類)
  - カブトムシ(昆虫類)
  - カタツムリ(陸貝)
- ⑤豊かな土にすむ動物
  - モグラ塚(哺乳類)\*
- ⑥市街地の緑を利用している動物
  - コウモリ(哺乳類)
  - ツバメの巣(鳥類)
  - ヤモリ(爬虫類)
- ⑦草をすみかにしている動物
  - カナヘビ(爬虫類)\*
  - ベニシジミ(昆虫類)\*
- ⑧草地に生えている植物
  - ススキ(植物)\*

\*:2015年に初めて対象とした生きもの



- ◆地区名の下に数字は報告件数を示します。
- ◆アライグマの報告はありませんでした。
- ◆対象17種類の生きものの報告がなかった地区でも、別の生きものは確認されています。



### 生きもの報告件数 ベスト10

1. ススキ (100)
2. カマキリ類 (87)
3. コウモリ (72)
4. ヤモリ (52)
5. ヒキガエル (30)
6. アカボシゴマダラ (27)
7. ヒグラシ (22)
8. ツバメの巣 (20)
9. オナガ (16)
10. カナヘビ (14)

※カッコ内の数字は報告件数

### 報告が多い場所 ベスト10

1. 一戸建・家 (251)
  2. 公園・緑地・緑道 (193)
  3. 学校・キャンパス (53)
  4. マンション・団地 (49)
  5. 道 (45)
  6. 川 (40)
  7. 商店街 (18)
  8. その他 (16)
  9. 空地 (13)
  10. 農地 (9)
- ※カッコ内の数字は報告件数

### 2015年の生きものしらべについて

◆2015年は、区内61地区で、17種類の動物や植物についてしらべました。17種類は、左図の上①~⑧のような特徴や環境を代表する生きものから選びました。初めてしらべてみた生きものも7種あります。

◆確認報告が多かったのは、深沢地区、喜多見地区、砧公園地区でした。

◆17種類のうち報告件数の1位は、今年新たに対象としたススキでした。ススキは区内の広い範囲で見られることがわかりました。



- ◆モグラ塚はベスト10位に入らず。ミミズがいるような豊かな土がある場所は限られているようです。
- ◆哺乳類の外来種として新たに対象としたハクビシンとアライグマは、この調査ではほとんど確認されませんでした。
- ◆報告が多い場所の1位は「一戸建・家」でした。身近な場所にも生きものがすめる様々な環境があることがわかります。